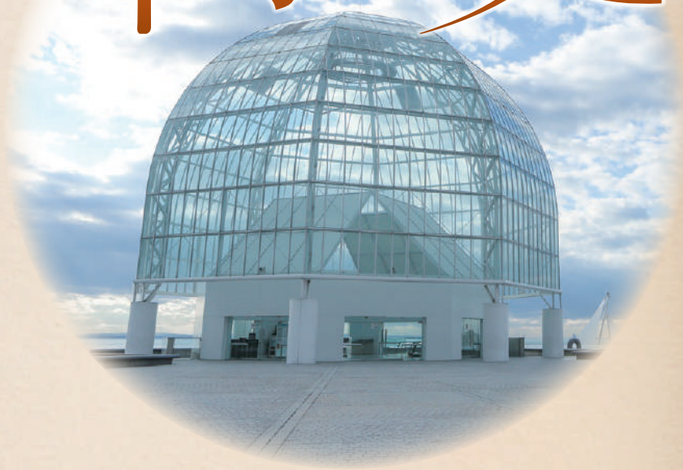
シニアライフ・コンシェルジュが案内する

都内の名処



CHAPTER 23

生き物を楽しく見られる 葛西臨海水族園

東京に観光名所は数あれど
あまり知られていない
穴場スポットは数多く存在します。
そんな「都内の名処」を、隔月で
シニアライフ・コンシェルジュ
藤野政史がご案内します。
今月は、JR京葉線「葛西臨海公園」駅より
徒歩5分の場所にある
「葛西臨海水族園」に出掛けてみましょう。

藤野政史（ふじの まさふみ）
グローバルライフ株式会社
代表取締役
シニアライフ・コンシェルジュ
シニア世代の皆さまが楽しく、笑顔で、遊び、学ぶ、集う会「グローバルライフクラブ」を運営。

「都内の名処」を募集中!
グローバルライフクラブ 検索
0120-70-0202

園内には、4種類のペンギンが飼育されている国内最大級のペンギン展示施設も。陸上と水中、両方のペンギンの動きを観察できる。

クロマグロと7つの海

いまから30年以上前、平成元年に開園した葛西臨海水族園は、世界で初めてクロマグロの群泳展示に成功し、その様子をひと目見ようと連日多くの人が駆けつけました。首都圏の方であれば、葛西臨海公園駅から見える大きなガラスドームを、葛西のランドマークとして認識している方も多いのではないでしょうか。透明な特殊硝子を872枚組み合わせて造られたこのドームは、建築家の谷口吉生氏がトラック1台分相当の設計図面を描いて完成させたものだとか。そのガラスドーム内のエスカレーターを降りていくと、だんだんと水の音がして、水中に入っていくような演出が施されています。現在、600種を超える海の生き物たちを飼育展示する園内の様子を、教育普及係の広報担当係長・佐藤さんに案内していただきました。「葛西臨海水族園はクロマグロが大変有名ですが、日本では他で見られない生き物も多く、水族館では最多となる54の繁殖賞（国内繁殖の例がない飼育生物を繁殖させた施設を表彰する賞）を受賞しています。また、世界でもあまり例のない7つの海から集めた世界中の魚を、海域ごとに展示しています。業者から入手できる海域の魚だけでなく、ときにはスタッフ自ら海に潜って採集することもあり、実は私も以前、南極へ行ったことがあります。園内には全部で約90の水槽があり、そのようにして集められた生き物たちもいるんですよ」

開園当時はインターネットがまだない時代だったので、図鑑などを調べて展示する生き物を検討したり、現地に行って情報収集したりしたのだとか。そして生き物を展示している水槽ごとにコンセプトが設けられています。たとえば「世界の海」エリアの「ハワイ沿岸」であれば、ハワイ周辺で見られる色鮮やかな魚が集められ、1つの世界観が作られているのです。

自然が豊かだったころの東京周辺の水辺を再現した淡水生物館は隠れた人気スポット。魚類や両生類の展示のほか、水草も観察できる。

現在約60匹のクロマグロが群泳しているドーナツ型の大水槽。これほど大型なクロマグロを群れで展示している施設は世界でも例を見ない。

豊かな水環境を持った園

園内には、ペンギン展示施設「ペンギンの生態」、クロマグロが群泳する「大洋の航海者」、水深200メートルを超える深海の世界へと誘う「深海の生物」、東京湾や小笠原の海の様子が垣間見られる「東京の海」のほか、東京周辺の海辺の波打ち際を再現した「渚の生物」エリアもあります。ここでは機械で波を起こして、潮の満ち引きも再現しており、磯の生き物に触れられるコーナーも人気です（現在はコロナの影響で休止中）。

これだけ充実した施設にもかかわらず、入園料は一般700円、65歳以上は350円ととてもリーズナブル。これは東京都の公的な施設だからです。しかも「水辺の自然」とよばれる屋外エリアには芝生広場やお弁当広場もあり、お弁当などを持ち込んで1日ゆっくり過ごすことも可能です。「葛西臨海水族園が「水族館」ではなく「水族園」とよばれる所以はここにあり、館内だけでなく、屋外の園地での展示エリアも含めて全体で水族園としています」と佐藤さんは話します。生き物たちに癒やされるも良し、海を臨むレストラン「シーウィンド」でゆっくりするも良し。進化する水族園を体感しに出掛けてみてはいかがでしょうか。

※次回の「都内の名処」は5月号に掲載予定です。

シニアライフ・コンシェルジュ
おすすめスポット

世界の海
熱帯のサンゴ礁から極寒の海まで、世界中から集められた珍しい生き物に出会える「世界の海」エリア。写真は「カリブ海」の水槽。

アカシュモクザメ
飼育が難しいというアカシュモクザメの展示も見どころの1つ。

南極での採集
教育普及係の佐藤さんが実際に南極で行った採集の様子。

東京都葛西臨海水族園

■所在地／東京都江戸川区臨海町6-2-3
■最寄駅／JR京葉線「葛西臨海公園駅」より徒歩5分
■開園時間／午前9時30分～午後5時（入園および入園券・年間パスポートの販売は午後4時まで）
■休園日／水曜日（水曜日が祝日や振替休日の場合はその翌日が休園日）、年末年始（12月29日～翌年1月1日）
■入園料／一般700円（560円）、中学生250円（200円）、65歳以上350円（280円）、年間パスポート一般2,800円、65歳以上1,400円※（）内は20人以上の団体料金
※小学生以下、都内在住・在学の中学生は無料です。
※身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、その付添者（原則1名）は無料です。

【ご注意】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため臨時休園する場合があります。詳細は公式サイトにてご確認ください。